

地域自主防犯活動活発化事業

実施結果報告書

1 団体名	楽田小学校 PTA
2 事業名	青色防犯パトロール
3 事業実施結果	<p>青色防犯パトロール活動の効率化と活性化</p> <p>1. 事業実施の意義</p> <p>本防犯パトロールは、楽田小学校 PTA と楽田地区コミュニティが連携して活動してきたが、コロナ禍により活動の中止を余儀なくされていた。だが、昨年度効率化と負担軽減を約束として、年間 60 日程度の運用を再開した。概ね再開後の運用はスムーズであるが、運用しながら新しい課題に直面している。</p> <p>(1) 活動者の情報記載漏れ</p> <p>これまで紙面にて行っていた活動者の情報交換をスマートフォンで処理できるようにした。使用している申し込みフォームのスペックの関係で、必要な情報をメモ欄に記入してもらっているが、未記入のまま送信してくる会員が多くいた。その結果、確認の電話を入れるなど、結局事務局の手間がかかってしまった。そこで、昨年度開発した予約システムと併用して Google フォームを活用することで、必要な情報を事前に入力してもらうことにした。</p> <p>(2) 活動経路の伝達不足</p> <p>地図を紙で配布していたが、「見にくい」「読み取りにくい」「そもそも地図は苦手」といった声が寄せられた。そこで、Google マップのマイマップ機能を活用して、コース図を作成することとした。さらに、実際に走る道の動画を撮影し、YouTube にアップし、解説を付けるなどガイドを作成できないかと考えた。</p> 

3 事業実 施結果

(3) 会員の意識向上に向けて

地域の安全対策は自分たちでやらなければならないという意識はまだまだ低い。そこで、ポスターやビラを作成するなどして配布した。

また、PTA 内の会合だけではなく、コミュニティの会合や町会長の会合などにもビラを活用して協力を呼び掛けた。

2. 事業の実施結果

(1) A 事業：ICT を活用した効率化

運営の効率化に向けて、楽田小 PTA・HP に作成する地図や申し込みフォームを掲載した。

【新規:地図の作成】

Google マイマップ機能を活用した地図の作成をすることで、会員にわかりやすくコース図を伝達した。

【改善:予約システムに Google フォームへのを導入】

昨年度作成した予約システム内に Google フォームを組み込むことで、名簿作成に向けた必要な情報を入力してもらえるようにした。



申し込みサイト



申し込み画面



入力フォーム

入力フォームはその後スプレッドシートに入力されて、そのままエクセルシートに修正し名簿として活用できる。これらの一連の方法を採用することで事務処理が大幅に軽減できた。

3 事業実
施結果

(2) B事業：会員・地区への啓発活動

【改善:HP の新規ページの作成】

HP による情報の公開を、意図的・計画的に実施したい。会長の依頼事項や実施の内容、日誌やマニュアルなども、まとめて確認できるような構成にする予定である。



2023/6/14 青色防犯パトロールの際に渡される資料

現在、概ね順調に運用が進んでおります。ご協力ありがとうございます。地図がわかりにくいと多く意見が寄せられたので、Googleマップのマイマップ機能でコース図を作成しました。(事務局)

★青色防犯パトロール日誌

★回覧袋・活動手順

★コース (1) 東コース
(2) 西コース

①

【新規:ビラ・ポスターの作成】

地域に活動を宣伝していくためには電子媒体だけでは限界がある。そこで、紙媒体による宣伝や、会合への出席して宣伝していくなどの啓発活動を粘り強く行っていく必要がある。その会合等で活用するポスターやビラを作成した。

今後の地域の会合等で配布することで、可能な限り情宣をして行きたい。

楽田小スクールガード 大募集



子どもたちの安全を見守る
ボランティアです

- 年齢制限ありません
保護者の皆様・祖父母の皆様方大募集です
- スタッフのジャンパー・ベストは支給します
- 参加できる日だけで構いません
- 保険に入ります



詳しくは 楽田小学校 教頭
0568-67-1005

または
こちらから→



4 成果と課題 及び今後の 取組み	<p><u>1 事業実施の成果及び課題</u></p> <p>(1) 成果</p> <p>【PTA 役員・委員・事務局の調整業務の削減】</p> <p>修正によりさらなる今日も削減に削減をすることができた。これにより業務を事務局に集中管理できるようになり、事務業務を会員に負担させることなく進めることができるようになった。</p> <p>【実施者の所属意識の向上】</p> <p>運用が定着する中で、後ろ向きの意見が減った。また、改めて PTA 活動の意義について考えることができるようになった。</p> <p>(2) 課題</p> <p>学校の PTA 活動や地域のコミュニティへの参加率が下がっている大きな流れにはなかなか逆らうことはできない。これは、働き方改革や共働き世代の増加などが影響していると考えられる。よって、これまでと同じように本会の運営をしては立ち行かなくなってくることは自明である。本助成金により、システムの効率化と会員の所属意識の向上を果たすことができた。</p> <p>本年度のシステム変更により個別最適化を実施することができたがまだまだ不十分なところが多く、更なる運用システムの浸透が課題となる。またほかの部局の ICT 化も含め連携したシステムを構築することが大切となるであろう。</p> <p><u>2 今後の取組み</u></p> <p>これまでの活動の柱として取り組んできた青色防犯パトロールが復活定着できたのは、大変良い成果と言えが、今後も活動の意義や理解を求める声掛け等を会員に粘り強く行っていくことをしなければ、活動の自体が揺らいでいく可能性もある。大切なのは地域に住んでいる一員として、学校や地域に関りをもつことで、学校や地域が成り立っているという意識をもてるようなアプローチを粘り強く行っていくことにある。</p> <p>例えば、子ども 110 番の家のシステムが崩壊しているなどまだまだ不十分な点も多くある。旗当番の役割分担がうまく回ってない地区もある。保護者への無理のない形で、意識向上につながる取り組みを実施していきたい。</p>
-------------------------	--